

ヴ・タン・リム 研究員



私はヴ・タン・リムと申します。ベトナム社会主義共和国の農業・農村開発省（MARD）堤防洪水管理局（DDMFC）で働いています。

熱帯モンスーン地域に位置するベトナムは、アジア太平洋地域ではもっとも嵐が起きやすい5地域の1つです。そのため、様々な自然災害に直面しています。近年では、各地で継続的に災害が発生した結果、環境の悪化だけでなく、人命、財産、社会

経済および文化的インフラなどに甚大な損失が生じました。過去10年間（1997-2006）では、台風、洪水や干ばつなどの自然災害による行方不明者および死者数は約7,500名を数え、経済損失としてはGDPの1.5%に相当する被害がもたらされました。

MARDの指揮の下、ベトナムは、ADRC、アセアン防災委員会、WMO、台風委員会、防災パートナーシップ（NDM-P）、UN/ISDR、UNDP、UNESCAP、世界銀行、アジア開発銀行などの国際機関や海外の機関、NGOとも連携して自然災害の軽減に取り組んできました。

6カ月間の日本での滞在中に、私は特に洪水、サイクロンや防災教育分野における日本の防災の実践について学ぶ予定です。また、私と同じ期間を過ごすネパール人客員研究員とも災害と防災に関する経験を共有したいと考えています。ベトナムは、ADRCの客員研究員プログラムを通じて大きな成果を得られるものと確信しています。